

経皮鎮痛消炎剤

ロキソプロフェンNaテープ50mg「NP」・100mg「NP」

をご使用の患者さんへ

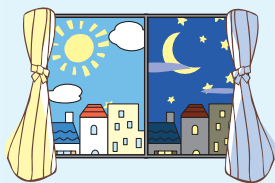
監修：上中 一泰先生

(地方独立行政法人 公立甲賀病院 整形外科部長)

このテープ剤はライナーに3分割フィルムを採用しています。

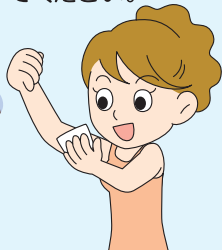
中央のフィルムをはがして貼れますので、貼りにくい肩、ひじ、腰、等に一人で貼ることができます。

貼るときのアドバイス



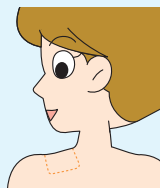
24時間効果が持続しますので、貼りかえは**1日1回**です。

患部を清潔にしてください。



患部の汗をよくふきとってください。

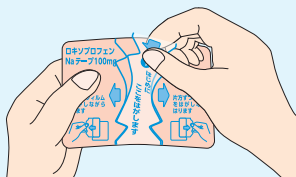
続けて貼る場合は時間をあけて皮膚を休ませてから貼るとかぶれ防止になります。



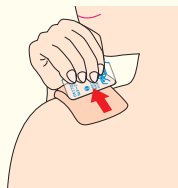
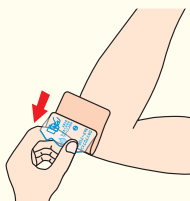
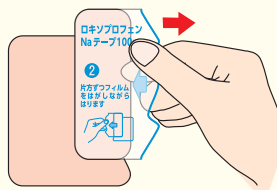
お風呂あがりに貼ると、より効果的です。(ただし、汗がひいてからにしましょう)

貼るときの手順 (例)

中央部のフィルムをはがし患部に貼ります。



両側のフィルムを片方ずつはがしながら患部に貼ります。



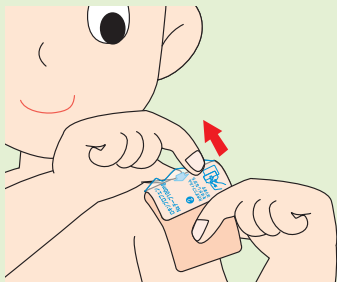
皮膚になじむよう押さえてください。



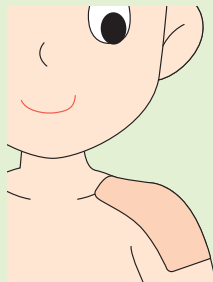
ロキソプロフェンNaテープ50mg「NP」・100mg「NP」 の上手な貼り方

首、肩、ひじに貼る場合(例)

肩



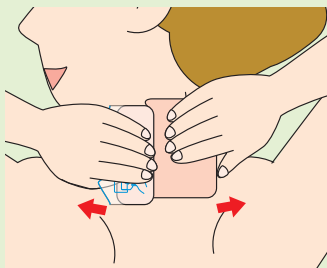
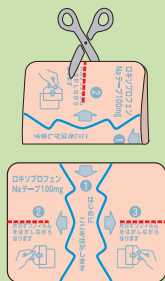
- ① 中央のフィルムをはがし、粘着面を患部に貼ります。片方のフィルムをはがしながら肩のカーブに合わせて貼ります。



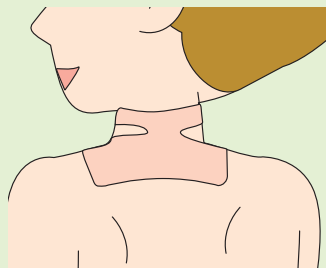
- ② 残りのフィルムをはがし、肩のカーブに合わせて伸ばしながら貼ります。

首・肩

切り込みの入れ方



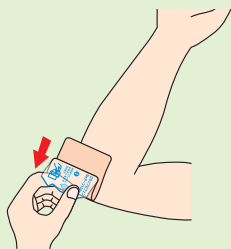
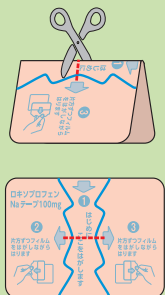
- ① 中央のフィルムをはがし、首筋に貼ります。



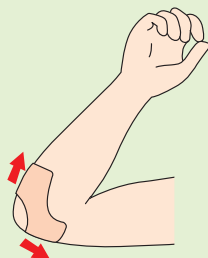
- ② 残りのフィルムをはがし、上部を首に下部を肩に伸ばしながら貼ります。

ひじ

切り込みの入れ方



- ① 中央のフィルムをはがし、ひじを軽く曲げた状態で切り込みを可動部位に合わせて貼ります。次に片方のフィルムをはがしながら体に沿って貼ります。

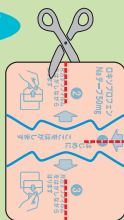


- ② 残りのフィルムをはがし、可動部位に合わせて伸ばしながら貼ります。皮膚になじむよう押さえてください。ひじを軽く曲げ伸ばし、きちんと貼れているか確認してください。

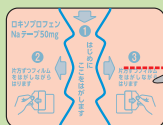
手、足、ひざに貼る場合(例)

手首・手関節

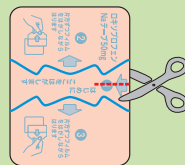
切り込みの入れ方



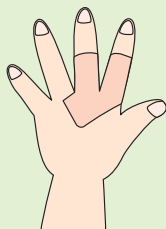
切り込みの入れ方



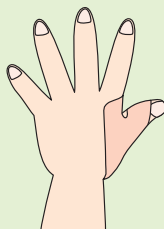
切り込みの入れ方



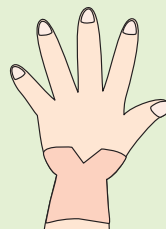
指の付け根



親指の付け根



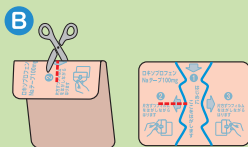
手首



中央のフィルムをはがし、関節やカーブに合わせて伸ばしながら貼ります。皮膚になじむよう押さえてください。

足首

切り込みの入れ方

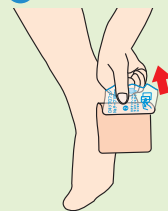


A

B

A

B

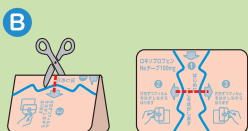
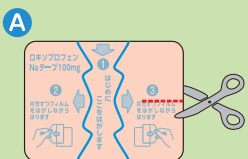


① 中央のフィルムをはがし、切り込みを可動部位に合わせて貼ります。

② 残りのフィルムをはがし、足の甲やかかとの動きに合わせて伸ばしながら貼ります。皮膚になじむよう押さえてください。

ひざ

切り込みの入れ方

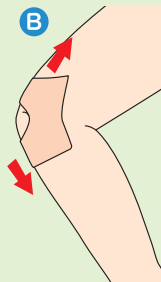
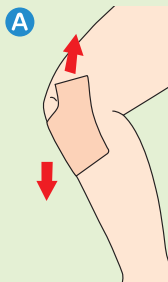
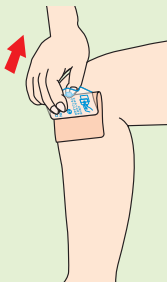


A

B

A

B



① 中央のフィルムをはがし、ひざを軽く曲げた状態で切り込みを可動部位に合わせて貼ります。

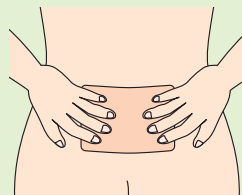
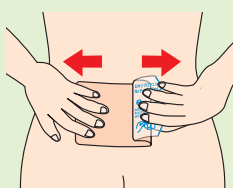
② 残りのフィルムをはがし、ひざのカーブや動きに合わせて貼ります。皮膚になじむよう押さえてください。ひざを軽く曲げ伸ばし、きちんと貼れているか確認してください。

腰、おしりに貼る場合(例)

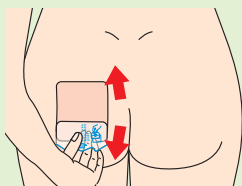
① 中央のフィルムをはがし粘着面を患部に貼り、左右のフィルムをはがします。

② 皮膚になじむよう押さえてください。

腰

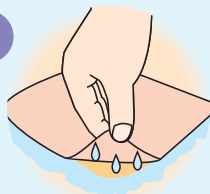


おしり



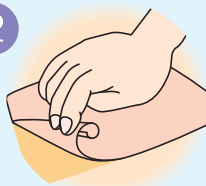
はがすときのアドバイス

1



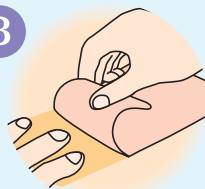
はがしにくいときは無理にはがさずに、水やぬるま湯で湿らせて、ゆっくりとはがしてください。

2



角からくると巻きながらはがすと簡単にはがせます。

3



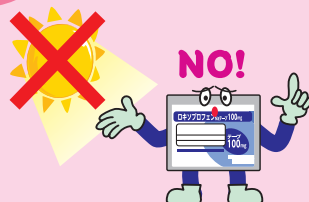
周囲の皮膚を手で押さえながら皮膚に沿ってゆっくりとはがしてください。

保管方法

- 開封後は、開封口のチャックを合わせてしめて保管してください。



- 直射日光を避け、室温（1～30℃）で保管してください。



- 薬袋に記載の「注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 皮膚が赤くなったり、かゆみが出たときは、使用を中止し、医師・薬剤師にご相談ください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。